

JOCS 祈りの花束

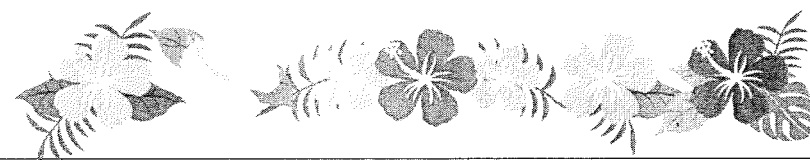
2019年8月

今月のことば: 愛は、隣人の苦悩を深く憐れんで下へと引き寄せられるとき、不思議な仕方で高くそびえ立ちます。

(大グレゴリウス 六世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1 母乳育児率が向上し、赤ちゃんと母親の健康が守られるように(本日、世界母乳の日*1)	2 夏期募金のため	3 奨学金委員会のため(本日委員会開催)
4 ワーカーのご家族のため。特にその健康が守られるように	5 ワーカー派遣地の治安のため	6 核兵器全廃に向けて働く人々のため(本日、広島平和記念日)	7 地区 JOCS の働きのため	8 先住民・少数民族の生活・人権・健康が守られるように(明日、世界の先住民国際デー*2)	9 戦争や紛争で亡くなった人々の魂の平安のため(本日、長崎原爆の日)	10 仙台 JOCS きてきつぺのため(毎月第2土曜に開催)
11 山間部の僻地に暮らす人々の健康のため。またその地域で保健医療活動に従事する人々のため(本日、山の日)	12 世界の青少年に、平等に保健医療的なケアや教育の機会が与えられるように(本日、国際青少年デー*3)	13 SALT・地の塩プロジェクト(協働プロジェクト)のため(カンボジア)	14 事務局スタッフのため	15 JOCS が平和への責任を新たに担ってゆくことができるように(本日、敗戦記念日)	16 JOCS の募金活動、特に「つながる募金」「古本募金」「JapanGiving」のため	17 会員の増強のため
18 使用済み切手収集活動のため	19 岩本直美さんのため(バングラデシュ・帰国中)	20 カンボジアの教会のため	21 JOCS の奨学生のため(特にインドネシアの奨学生のため。現在5名)	22 日本キリスト者医科連盟(JCMA)総会のため(明日~25日、愛知県豊田市で開催)	23 関西事務局のため(明日オープンサタデー)	24 日本キリスト者医科連盟(JCMA)総会における「JOCSの夕べ」のため(本日開催)
25 シオラムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	26 実施中の「ゆうパックで使用済み切手を送ろう」着払いキャンペーンのため	27 雨宮春子さんのため(タンザニア)	28 JOCS のボランティアの方々のため	29 新しいワーカーが与えられるように	30 JOCS の会員のため(特に、鹿児島県の会員のため。現在17名)	31 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)

- *1: World Breastfeeding Day. WHO と UNICEF の援助のもとに制定された日
- *2: International Day of the World's Indigenous People 1994年に国連で制定された国際デー。
- *3: International Youth Day 1999年に国連で制定された。



祈りの項目

事務局より: 暑さのなか、JOCSを支えてくださる方々の健康がまもられますように

みことばの黙想 2019年 8月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、典拠箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日(木) マルコ 9:30-37
イエスは弟子たちに言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」

2日(金) ルカ 7:36-50
イエスは女に言われた。「あなたの罪は赦された。」同席の人たちは、「罪まで赦すこの人は、いったい何者だろう」と考え始めた。イエスは女に言われた。「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」

3日(土) アモス 8:11
見よ、その日が来ればと、主なる神は言われる。わたしは大地に飢えを送る。それはパンに飢えることでもなく、水に渴くことでもなく、主の言葉への飢えと渴きだ。

4日(日) ルカ 12:13-21
イエスは言われた。「どんな貪欲にも注意を払い、用心しなさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである。」

5日(月) 箴言 23:15-19
日ごと、主を畏れることに心を燃やすがよい。確かに未来はある。あなたの希望が断たれることはない。

6日(火) ダニエル 7:13-14
主の変容
ダニエルの預言。夜の幻をわたしがなお見ていると「人の子」のような者が天の雲に乗り、「日の老いたる者」の前に来て、そのもとに進み、権威、威光、王権を受けた。諸国、諸族、諸言語の民は皆、彼に仕え、彼の支配はとこしえに続き、その統治は滅びることがない。

7日(水) マタイ 20:20-28
イエスは言われた。「あなたがたの中で偉くになりたい者は、皆に仕える者になりなさい。」

8日(木) ガラテヤ 5:13-14
パウロは記す。「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」

9日(金) 1ペトロ 4:7-11
ペトロは記す。「語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕する人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。」

10日(土) エレミヤ 1:4-8
主はエレミヤに言われた。「わたしがあなたを、だれのところへ遣わそうとも、行きなさい。彼らを恐れることはない。わたしがあなたと共にいて、必ず救い出す。」

11日(日) ルカ 12:32-34
イエスは言われた。「自分の持ち物を持って歩いて施しなさい。尽きることのない富を天に積みなさい。あなたがたの富のあるところに、あなたがたの心もある。」

12日(月) ルカ 5:1-11
イエスはシモン・ペトロに言われた。「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい。」シモンは答えた。「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみしましょう」

13日(火) イザヤ 49:1-6
主は言われる。「あなたはわたしの僕(しもべ)であるだけではない。わたしはあなたを国々の光とし、わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする。」

14日(水) 1テサロニケ 5:1-11
パウロは記す。「あなたがたは光の子、昼の子です。だから眠っていないで、目を覚ましていなさい。」

15日(木) ルカ 1:46-55
主の母聖マリア日
マリアは言った。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。」

16日(金) ルカ 14:27-33
イエスは言われた。「自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれ、わたしの弟子ではありえない。」

17日(土) 2コリント 6:1-10
パウロは記す。「わたしたちは、悲しんでいるようで、常に喜び、物乞いのように、多くの人を富ませ、無一物のように、すべてのものを所有しています。」

18日(日) ルカ 12:49-53
イエスは言われた。「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。」

19日(月) バルク 5:1-9
悲しみの衣を脱ぎ、神から与えられる栄光で永遠に飾れ。神は自らの慈しみと義をもって、喜びのうちに導かれる。

20日(火) 黙示録 21:5-7
神は言われる。「わたしは、アルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。渴いている者には、命の泉から値なしに飲ませよう。」

21日(水) 1ヨハネ 4:7-11
ヨハネは記す。「互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。」

22日(木) 使徒言行録 2:42-47
信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。

23日(金) ローマ 12:14-18,21
パウロは記す。「だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らさなさい。」

24日(土) エフェソ 2:13-22
パウロは記す。「キリストにおいて、あなたがたは共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。」

25日(日) ルカ 13:22-30
イエスは言われた。「人々は、東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」

26日(月) 詩編 34
主は、打ち砕かれた心に近いまし、悔いる霊を救ってくださる。

27日(火) ローマ 12:3-13
パウロは記す。「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。旅人をもてなすよう努めなさい。」

28日(水) テトス 3:4-7
パウロは記す。「わたしたちの救い主である神の慈しみと愛とが現れたときに、神は、わたしたちが行った義の業(わざ)によってではなく、ご自分の憐れみによってわたしたちを救ってくださいました。」

29日(木) ガラテヤ 3:19-29
パウロは記す。「あなたがたは皆、キリストを着ています。そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。」

30日(金) マルコ 2:15-17
イエスは言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

31日(土) 黙示録 3:20-22
復活されたキリストは、こう言われる。「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするのであろう。」